

せたな町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

近年のせたな町は町村合併後も人口減少が続いており、高齢化の進行も同時に進んでいる。また、マイカーの普及、人口減少、少子化などの影響により、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下が生じてきている。さらには、高齢化の進行により公共交通機関に頼らざるを得ない町民が増えており、公共交通の維持、確保の必要性が増していることから、町内バス路線をはじめとする赤字路線への財政的支援や一部路線のデマンド化を進めながら、交通不便地域の解消を図り、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を目指す。

生活交通確保維持改善計画の目標

平成27～29年度の利用実績及び実証運行調査結果を参考

- ・瀬棚須築線 目標値 3,900人
- ・北檜山太櫓線 目標値 2,616人

令和元年度事業概要

○瀬棚須築線

運行形態: デマンド型フィーダー路線
運行事業者: 有限会社東ハイヤー
運行日: 平日、土日祝日
運行回数: 上り線・下り線 いずれも6便
運賃: 1回200円

地域公共交通の現況

- ・函館バス株式会社
(複数自治体をまたがる路線 4路線)
(町内路線 1路線)
- ・有限会社東ハイヤー
(町内路線 1路線)
- ・スクールバス
- ・患者輸送バス

協議会開催状況

平成31年3月5日

- 平成30年度第4回協議会を開催
 - ・実証運行調査実施結果及び本格運行への移行について
 - ・地域内フィーダー系統確保認定申請について 等
- 令和元年6月13日

- 令和元年度第1回協議会を開催
 - ・地域内フィーダー系統確保認定申請について
 - ・路線の運行見直しについて(運行ダイヤ改正) 等
- 令和2年1月20日

- 令和元年度第2回協議会を開催
- ・地域公共交通確保維持改善事業事業評価について 等

○北檜山太櫓線

運行形態: デマンド型フィーダー路線
運行事業者: 有限会社東ハイヤー
運行日: 平日、土日祝日
運行回数: 上り線・下り線 いずれも6便
運賃: 1回200円

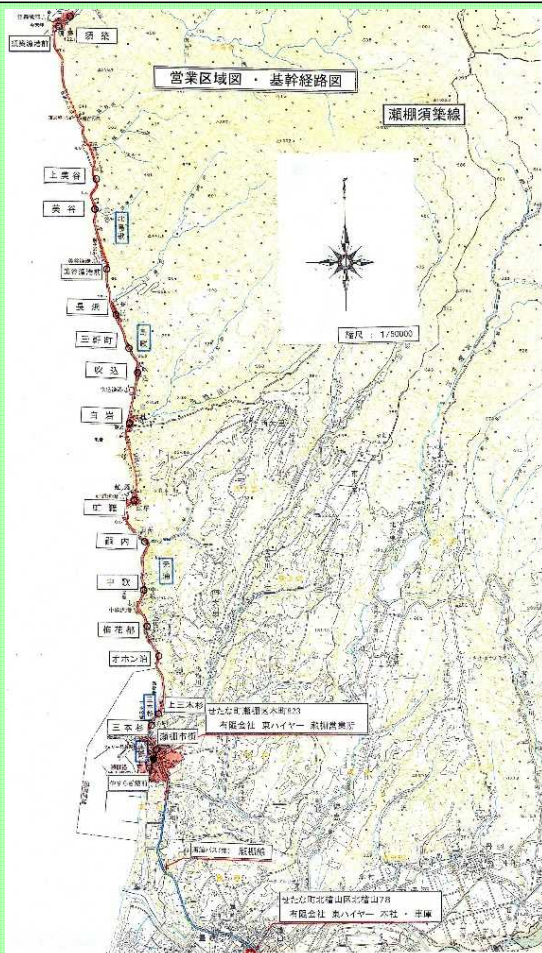
令和元年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

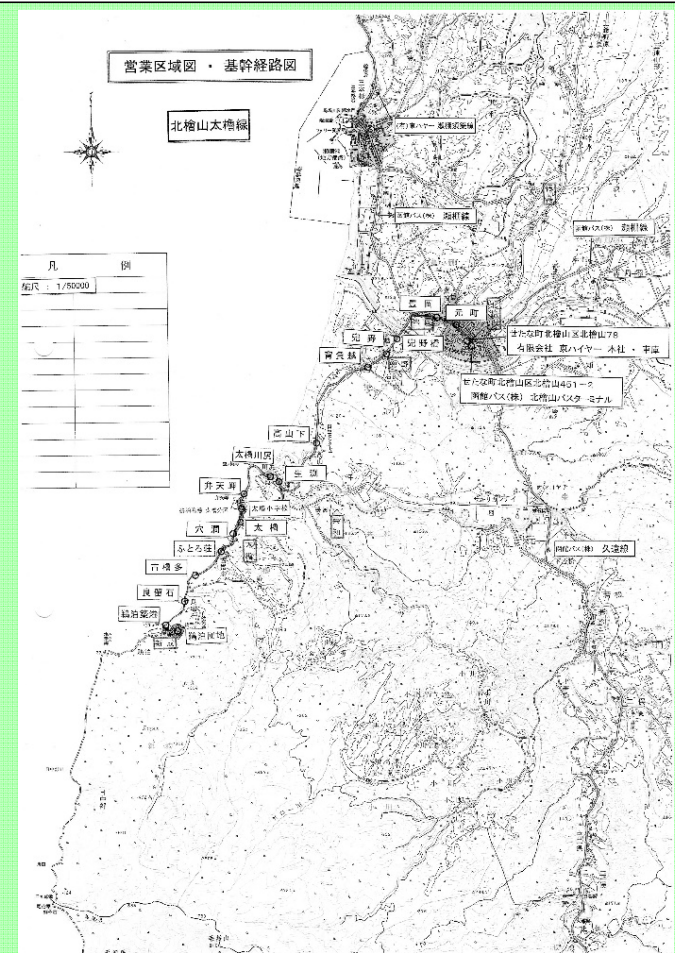
- ・北檜山太櫓線のフィーダー路線エリア選択は、平成30年度実施の実証運行調査及び地理的事情を基本として決定。
- ・瀬棚須築線においては、一部デマンド運行を参考に地域の声と地理的事情等を勘案して決定。
- ・地域住民説明会の開催、町広報誌による周知、運行地区全世帯への時刻表を配布、患者輸送バスに同乗し制度切り替えの説明等により、住民周知を行った。
- ・数日先の予約についても、まとめて受付できるなど、利用しやすい受付体制を整えた。

2) 運行系統

【瀬棚須築線】

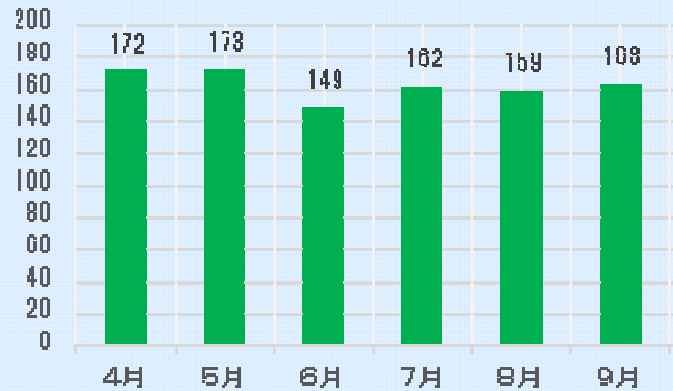


【北檜山太櫓線】

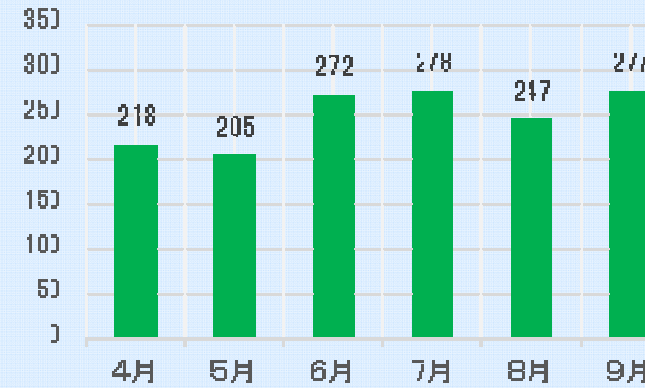


3) 利用実績

北檜山太櫓線

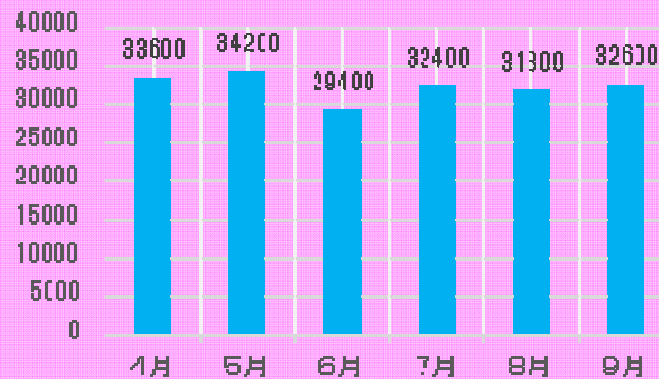


瀬棚須築線

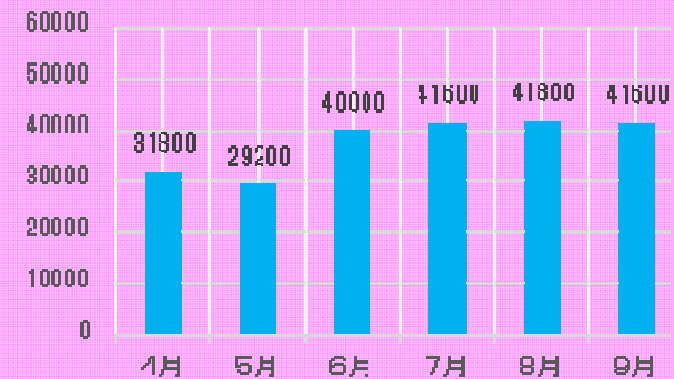


4) 収入実績

北檜山太櫓線



瀬棚須築線



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

デマンドバス運行事業として、新たな取り組みとなったため、直近の利用実績(H27~29年度)や本格運行前の実証運行調査結果(北檜山太櫓線)をベースに目標値を設定した。

年度途中の利用実績であるが3月には目標達成に近い効果的な取り組みとなっている。

<瀬棚須築線> 年間目標値 3,900人

○H31.4月~9月実績 利用実績① 1,497人
目標達成率 38.38%

○H31.4月~12月実績 利用実績② 2,417人
目標達成率 61.97%

<北檜山太櫓線> 年間目標値 2,616人

○H31.4月~9月実績 利用実績① 978人
目標達成率 37.38%

○H31.4月~12月実績 利用実績② 1,442人
目標達成率 55.12%

※目標値の設定が高すぎたことが目標を達成できなかった要因として上げられる。

7) 事業の今後の改善点

- ・利用者の声やニーズを適切に把握し、利便性の高まりが得られるよう検討する。
- ・広報誌面やチラシ、町ホームページにおいて、継続した情報発信を行い、利用促進を図る。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度と併せて評価)